

「市長への手紙」HP掲載データ（令和5年12月分）

見出し	0512-7 避難訓練について
ご意見	リュックサックを背負っての避難の推奨、参加者に対する実技訓練の実施、総合防災訓練の招致をしてはどうか
回答	<p>先日実施した、今年度の津波避難訓の参加者数は2,043人で、昨年度よりも164人増加したところではありますが、避難対象人口を考慮すれば、参加者が少ないものと捉えており、引き続き、参加者を増やす必要があると考えております。</p> <p>また、非常持ち出し品を持参しての訓練は、実際の避難により近い形となることから、重要であると認識しており、今後も、非常持ち出し品を積極的に持参いただき、訓練に参加するよう、効果的な周知方法を研究してまいります。</p> <p>なお、訓練時の参加者への実技訓練につきましては、貴重なご意見ではありますが、消防関係者の人数に限りがあることや、屋外での訓練であることなどから、津波避難訓練時の実施は困難であると捉えており、実技訓練につきましては、地域の訓練時などに、消防署や自主防災組織、地域の防災士などと連携し実施していただきたいと考えております。</p> <p>なお、総合防災訓練につきましては、岩手県が主体となって、県内12ブロックを順次持ち回りで実施しているものであり、久慈市は令和10年度の開催が予定されております。</p>
担当課	防災危機管理課 電話：0194-52-2173